

和水町過疎地域持続的発展計画の策定に係るパブリックコメントの実施結果及び町の考え方について

和水町過疎地域持続的発展計画（素案）について、町民の皆さまから意見を募集したところ、御意見をお寄せいただきありがとうございます。ありがとうございました。

寄せられました御意見、これに対する町の考え方及び町の方針について、次のとおりお示しします。

- 1 意見募集期間 令和8年1月27日（火）から令和8年2月10日（火）まで
- 2 意見提出者数 1件（1名）
- 3 意見に対する町の考え方及び方針
 - (1)御意見を踏まえ案を修正したもの 0件
 - (2)御意見に対して町の考え方で補足説明するもの 0件
 - (3)今後の取組みの参考とさせていただくもの 1件

4 意見と町の考え方

番号	意見	意見に対する町の考え方	町の方針
1	<p>コロナ以降、地域で集まること、集まっても必要な用事が済むと、すぐに解散することが多くなってきました。残っておしゃべりや交流の機会がありましたが、そのようなことも減ってきているように感じます。若い方も家を建てられ増えてきていますが、子育てや家庭を中心として過ごすことが多くなっているように感じます。「時代の流れ」とおっしゃる方々もいます。</p> <p>時代の流れとは関係なしに、大雨・地震など自然災害もますます増えてきています。地域がまとまっていれば災害が起きた時、隣近所、一人暮らし、高齢者の方々が協力して助け合うことができいくか心配するところです。「障害」をもっておられる方はましてや不安が大きく、雨や地震がたいしたことでない時も不安な日々を過ごしておられることを察します。</p> <p>それは日頃のおつき合い、顔見知り、何かと困った時“SOS”を発信で</p>	<p>当町では、地域の活性化及び協働のまちづくりの推進を図るため、区その他の公共的団体が自ら考え、自ら行動を起こす地域づくり活動に要する経費に対し、和水町地域づくり活動支援補助金を交付しています。</p> <p>今後も、本事業を御活用いただくために、周知を行って参ります。</p> <p>御意見は、今後の事業実施時に参考とさせていただきます。</p>	(3)

<p>きる相手がいらっしゃればいいのですが、あいさつもなし、日頃のおつき合いもほとんどないとなれば、災害だけではなく、病気で倒れたり、けがをした時、伝える相手、近所さん、声をあげれる関係がお互いにないと何も知らずに事が起きてしまうことを危惧します。</p> <p>そのためにひとつの方法として、お互いを知り、コミュニケーションが日頃できたり、お互いに隣りの家のことを気にかけるようになるためにも、さらに交流を深め、困ったことなど相談しやすい環境を地域でつくっていくのもとても大事なことではないかと思うのです。そんな集りをつくり、それぞれの居場所のある、誰とでも話し合うコミュニティができればと思います。その手助けをしていただくとありがたいです。活動するための予算があれば助かります。</p>		
---	--	--